

平成23年度第1回 産業技術実用化開発助成事業 採択課題一覧

	事業者名	開始期間	事業名	事業概要
1	ナイトライド・セミコンダクター株式会社	H23.8～	UV-LEDの高出力化	現在、半導体露光装置の光源には水銀ランプが使用されている。水銀ランプは有害な水銀を含み、発光効率が低く、寿命が短いという欠点がある。高効率のUV-LEDを開発し、省エネルギー化と長寿命化を図り、電力使用料の大幅削減を実現する。
2	株式会社ミスズ工業	H23.8～	マウス用の体内埋め込み型・高精度薬液注入ポンプの実用化開発	超小型のメカニカルポンプと極細の高柔軟性チューブを開発し、マウスの体内に埋め込むことが可能な超小型高精度薬液注入ポンプを実用化する。実験動物による新薬の評価をより正確かつ効率的に行えるようにし、新薬開発の迅速化に貢献する。
3	南開工業株式会社	H23.8～	キャパシタ電極材となる高機能活性炭の革新的製造技術の開発	キャパシタの更なる普及拡大のために、従来品より安価で高機能（高容量・高純度）なキャパシタ電極材用活性炭を実用化する。液晶素材であるトリアセチルセルロースの廃棄物を原料とすることで、製造コストの大幅な削減を図る。
4	城山工業株式会社	H23.8～	トラスコアパネルの動特性の最適化と合理的な量産設備の開発	折り紙工学から発明されたトラスコアパネルは超軽量・高剛性で、遮音性や振動特性が優れ、耐衝撃性や耐熱性等も高い。本事業で構造の最適化を行い量産化技術を確立する。この開発により新幹線車両や航空機への適用等、広い領域への市場投入を目指す。
5	日新電機株式会社	H23.8～	GIS用SF6ガス絶縁計器用変圧器(ガスVT)の研究・開発	世界的な変電所の縮小化の動きに合わせ、GIS変電所で使用するガスVTの小型化とGIS定期点検時のコストダウンを実現し、国民生活に不可欠な電気の安定供給に貢献する。
6	アネスト岩田株式会社	H23.8～	空気流動真空蒸発法による廃溶剤の新たな再生処理装置の実用化	工場等から排出される有害な揮発性有機化合物(VOC)を含む廃溶剤を再生・循環使用するために、流れがある真空下での蒸発特性を利用した溶剤再生装置を開発する。燃焼処理しないため、廃溶剤を安全かつ低コストで処理することができるようになる。
7	株式会社フォトロン	H23.8～	4千万枚/秒・40万画素・開口率100%の超高速ビデオカメラ	点火、レーザー加工、インクジェット等の微細で高速の熱・流体現象や、破壊き裂の進展等の撮影を実現するために超高速ビデオカメラを実用化する。これにより、自動車の排ガス・燃費の改善、安全性の向上や、質量分析装置等への適用・発展に貢献できる。
8	株式会社ユメックス	H23.8～	水銀フリー面型ナローバンド深紫外光源の実用化開発	環境負荷低減を実現するために、水銀フリー面型ナローバンド深紫外光源の開発を実施する。この開発により、例えば医療分野における皮膚治療用や、工業分野における露光用のランプなど幅広い用途の紫外光源が有害物質を含まない安全・安心なものになる。
9	林テレンプ株式会社	H23.8～	光配向材の実用化開発	偏光UV光照射により複屈折性を制御できる新規な光配向材料とそれを用いた光学フィルムを開発する。これにより3D-TV等のフラットパネルディスプレイをはじめ幅広い製品の映像品位向上や超薄型化などの高付加価値化を実現できる。
10	片山化学工業株式会社	H23.8～	リポソーム技術を応用した次世代型高感度高機能MRI造影剤の開発	疾病病巣に選択的に集積する、安全性の高いナノ粒子型高感度造影剤を開発する。発症する前の病巣の超早期診断を可能とする、世界初のMRI用画像診断薬の実用化を目指す。
11	株式会社古河電工アドバンストエンジニアリング	H23.8～	リアルタイム・ヘアピンプライマーPCR装置	ウイルス性肝炎の感染予防・診断には高感度の遺伝子診断が必須である。治療・病態の進行にはウイルス変異やヒト遺伝子多型の解析も必須である。簡便・高感度な遺伝子診断技術の開発により治療の適正化や患者負担の軽減に繋げることができる。